

宇
等
小
學
校
郡

鄉
土
地
理

特31

381

026190-000-5

特31-381

郷土地理

宇佐郡高等小学校／編

M28

ADC-3875



境界

四日市

東 驛館村

石田

西 横山村

糸口村

常徳

吉松

城井

北

寺山

吉松山

(二名城ノ山)

南

井手

香下井手

赤尾

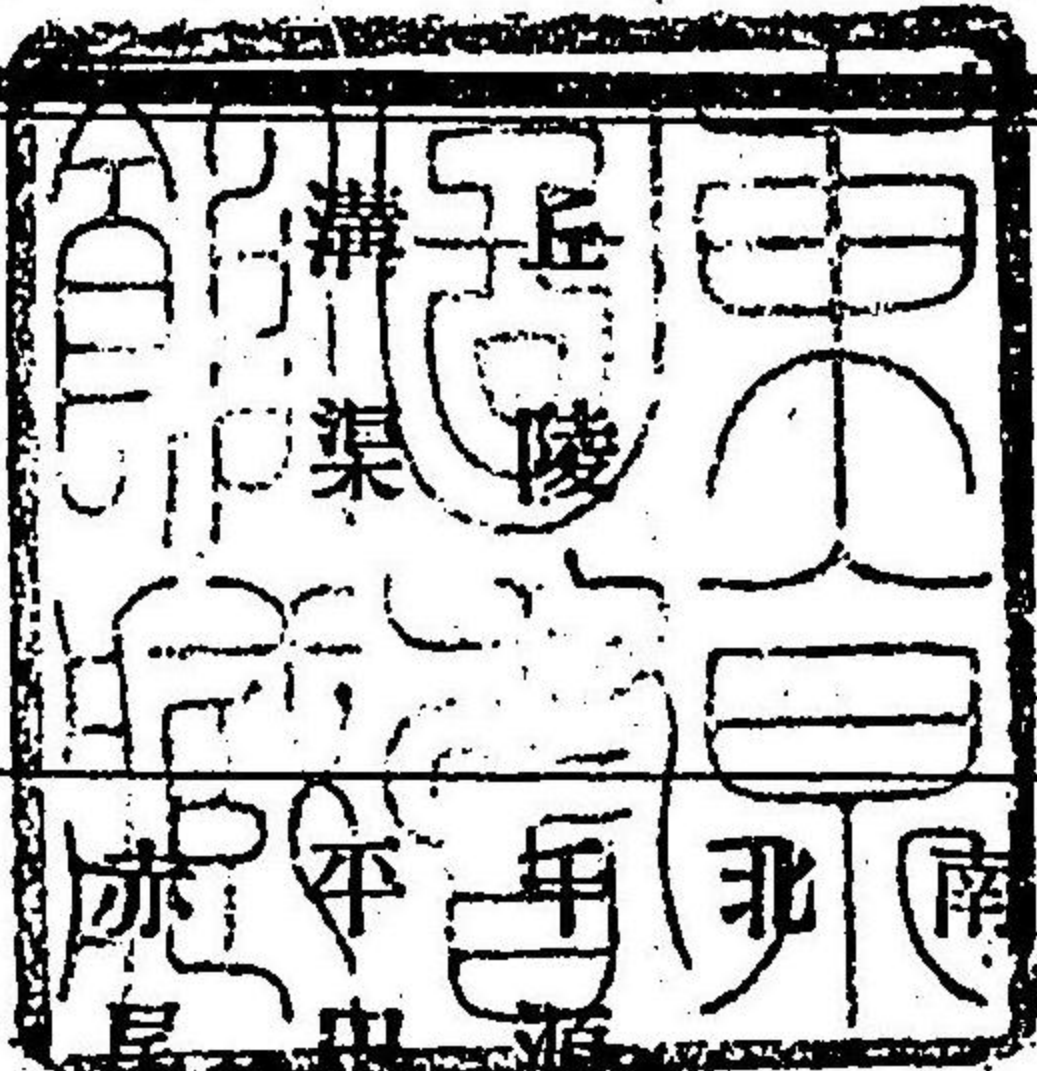
圓治ハ赤尾ノ人ナリ此時其近ヘン年々ヒ

ヤケナリシカバ圓治自ヲ上ニチガヒ五年間領

内ヨリ年グナマシテ取立テ其金ヲ以テ此井手

ヲ造レリ

其後五年ナスグレドモ尙久シク此年グナヘサ



、リケレバ人民何度モチカヒ出テシニ役人ド
モ横ヘイニシテ更ニキ、入レズ如何モセン方
ナク反リテ圓治ヲウラムル様ニナリ又圓治ノ
子圓右工門之ヲ見ルニ忍ヒズ一身ヲサシ出シ父ガ
無實ノツミヲハラサントテ文化九年今明治廿八年
ヲ去ルトス
前四年同志數十人ト直ニ中津ニ至リゴヲ訴セントス
此時領内政事乱レテ人民上ヲウラムルト甚ダ
シカリシカバ遠近一時ニ起リテ之ニ加ハリ遂
ニ一キトナル官兵ヲ出シテ乱民ヲコロシ其大
將ヲ誅シ事漸クヤミタリ然レトモ是レヨリ惡
政次第ニヤミ領内ノ人民一時圓右工門ノ德ヲ
ウケタリト云フ

市街 學校 官衙 寺院

本町横町河上町迫田町寺町(二名上町)ノ五スデナリ
宇佐郡高等小學校宇佐郡裁縫傳習所四日市尋
常小學校ノ三個アリ
宇佐郡役所宇佐郡警察署四日市町役場郵便局
収稅分署林區等ナリ
東別院西別院(共ニ眞宗)
兩別院ハ京都東西兩本願寺ノ出張所ニシテ九
州中最モ大ナル寺ナリ毎年十二月九日ヨリホ
ウ恩講ヲツトメ遠近ノ人參ケイスルモノ多ク
門前市ヲナス俗ニ之ヲ「オトリコシ」ト云フ
三百五十年前僧專譽ノ始メシ所ニシテ東本願
寺ヨリ寺ノ名及木ノ佛ヲ下シ御堂ヲ立ツ其後

(一) 東別院

僧トモ惡事ヲナセシテ以テ寺ヲ官ニ取り上ゲ
 本山ニアタヘタリ是ヨリ御坊ト云ヒ本山ヨリ
 役僧ヲオキテ之ヲツカサドラシム明治元年オモト騷
 動ノ時賊ニヤカレ今ノ御堂ハ其後立テシモノナリ
 今ヨリ三百八十年前僧養專ノ始メシ所ニシテ
 其時ハ一ツノ寺ナリレガ後遂ニ御坊ト稱シ西
 本願寺ヨリ役僧ヲ下シテ之ヲツカサドラシム
 ル様ニナリタリ
 四日市ハ四面皆水田ニシテ一ノ小市街ニスギ
 ザレトモ國道東西ニ通シ其上東西別院及ヒ諸
 役所ノアル所ナルヲ以テ人々四方ヨリアツマ
 リ宇佐郡中繁盛ノ地ナリ

概説

(二) 西別院

自叙

本書骨地理肉史談。以綱羅吾郷之事情。故地理史談彬々錯
 綜。別成一種之体裁。蓋欲以充地理史談之兩教科書也。從來
 世人皆雖知地理與史談者有密接之關係。於其教受尙爲別
 個矣。以是兩者常衝突支吾。或地理史談各爭其版圖。乃重複
 同一之事。或兩者互讓其境域。終遺漏必要之頃。或又兩者常
 不並進。而地理缺興味。史談陷摸稜。遂所以爲斷片零餘者。非
 兩者分立之故而抑何耶。余欲濟此病也久矣。爾來轉輾不息。
 經營拮据。辛苦慘憺。擗腦漿而所得僅不過此。杜撰之譏魯魚
 之誤。事實之謬。未免有之。江湖大方之諸彥。請幸教示焉。

明治廿八年二月清國北洋艦隊

殄滅之際記之

原口淺次郎

郷土地理

宇佐郡

宇佐郡
高等小學校

位置

豊前國ノ東ノハシニシテ大分縣ノ西北部ナリ

東 西國東郡 速見郡

南 玖珠郡 (以上三郡共ニ豊後)

西 下毛郡

北 周防難

廣袤

東西廣キ所ハ殆ンド四里ニシテ南北ハ七里半
面積二十七方里アリ

人口

戸數一万三千五百許ニシテ人口ハ七万余人ナリ
郡内ヲ別ケテ三町二十四村トナス

區劃

四日市町 長洲町 宇佐町 麻生村

山岳

〔一〕鹿嵐山

横山村	長峯村	糸口村	天津村
高家村	八幡村	柳ヶ浦村	驛館村
豊川村	西馬城村	北馬城村	封戸村
和間村	両川村	高並村	東院内村
院内村	南院内村	明治村	龍王村
安心院村	佐田村	津房村	

〔二〕御許山

郡内第一ノ高山ニシテメオノニアリ東ヲメ岳ト云ヒ西ヲオ岳ト云フオ岳ハメ岳ヨリモヤ、高シ一名馬城峯ト云フ山上ニ八幡社アリ昔ハ六ツノ寺アリテ御許六ノ坊ト稱セシガ御許騒動ノ時ヤカレ今ハワヅカニ神殿等二三ノ家ヲノコ

〔三〕龍王山

セルノミ

明治元年正月長州ノ士佐田内記兵衛平野四郎柴田直次郎等國ヲニゲテ吾ガ長洲港ニ上リ直ニ四日市ニ來リテ郡代所東別院等ヲヤキ其レヨリ御許山ニノボリ六ノ坊ヲ本ヂントナシ中須賀御倉ノ年グ米ヲ本ヂンニハコピテ兵糧トナス此時賊徒大カタ百人バカリ毎夜出デテ四方ヲサワガセ勢甚強カリシガ別ニ又長州ノ兵來リテ直ニ之ヲ平ゲ賊將三人ノ首ヲキリ四日市ニテゴクモンニ上ゲタリ此時六ノ坊皆ヤキハラワル之ヲ御許騒動ト云フ

一名臥牛山ト云フ南麓ニ「センノ岩」ト稱シテ

奇岩數十高クツキ立テ頗ルオモ白シ山上ニ
宇都宮綱房ノ城アトアリ

〔四〕仙岩山

山上ニ數十ノ奇岩アリテ龍王山ト相ニタリ俗
ニ之ヲ仙人岩ト云フ

〔五〕高山

山上ニ高尾城ノ趾アリ

〔六〕妙見山

山上ニ田原紹忍ノ城趾アリ

〔七〕大藏山

山上ニノロシヲ上ゲタル趾アリ

〔八〕雲嶽

先年陸軍省ヨリソク量臺ヲ置ケリ

〔九〕古城趾

足利氏ノ世吾宇佐郡ハ周防ノ大内氏ニ附キタ
レドモ土地遠ク飛ビハナレタリシヲ以テ其政
善クト、カズ地頭領主ハ各其土地人民ヲ支配
シテ各一個ノ小大名ノスカタヲナセリ其内主

山脈

ナルモノハ高家ノ中島氏小倉ノ渡邊氏麻生ノ
麻生氏安心院ノ宇都宮氏等ナリ其數殆ント三
十余ニ達ス之ヲ宇佐郡ノ三十六士ト云フ今所々
ニ殘レル城趾ハ大ガイ此時ノモノナリ其後大
友氏ノ盛ナルニ及ビ或ハ亡サレ或ハコウ參シ
妙見龍王ノ二城ハ遂ニ其下城トナレリ後又黒
田氏ノ中津ニ來リシ時遂ニ悉ク亡サレテ其下
ニ附キタリ

西鹿嵐ヨリ東ハ御許ニ至ルマデ石山妙見和尚
陳ガ辻雲嶽ノ諸山相ツヲナリテ郡内ヲ南北二

部ニ分ツ

〔一〕北部

北部ニハ鹿嵐妙見陳ガ辻ヨリ各一小脈ヲ出シ

〔二〕南部

低地

テ其間ニ小キ谷ヲ作レリ

南部ハ土地ケハシクシテ人見立石籬戸ノ諸高

山玖珠ノ境ニソビヘ其脈ハルカニ御許鹿嵐ノ

二山ニツラナリ内部ニモ其エダハ縦横シテ多

クノ谷ヲナセリ故ニ又山中部トモ云フ

平野ハ北部ニ多クシテ南部ニ少シ北部ハ又河

東河西ノ二ニ分ル

〔一〕河西部

全部大ガイ平坦ニシテ東西二里南北ハ一里半

ニワタレル一大沃野ナリ

〔二〕河東部

南部ノホソ長キ谷ヲ横山谷ト云フ

河東部ハ方一里許ノ平野ナリ

南方ニハ御許山ヲメグリテ一ツ、キノ谷アリ

〔三〕山中部

宇佐其中央ニアタル之ヲ馬城谷ト云フ

山中部ハ山多クシテ平野少シ院内谷安心院谷

深見谷津房谷佐田谷ハ其主ナルモノナリ

高並谷……………鹿嵐山

日岳谷

景平谷

温見谷

惠良谷

余谷……………人見岳

院内谷

山中部ハ深見谷中山谷

釜口谷……………立石山

津房谷……………松本谷

安心院谷……………龍戸山
……………龍王山

佐田谷.....米カミ山

河東部

馬城谷.....

雲許山 御許山 大藏山 陳カ辻山 和尚山

河西部

横山谷.....

妙見山 鼓臺山 石高山 仙岩山

川流

(一) 院内川

玖珠郡ヨリ來リ上流ニ西椎谷瀑アリ

(二) 深見川

上流ニ福貴野瀑(一名龍泉寺瀑)アリ

(三) 津房川

上流ニ東椎谷瀑アリ

(四) 佐田川

速見郡ヨリ來ル

(五) 驛館川

以上山中部ノ水相集マリテ一大河ナル之ヲ驛館川ト云フ郡内第一ノ大河ニシテ長大ヨソ十一里半アリ

北河北部ノ中央ヲ流ル、ヲ以テ北部ハ地勢自ラ二部ニ分ル東ヲ河東部ト云ヒ西ヲ河西部ト云フ

(六) 月瀬川

上流ハ寄藻川向野川ノ二ニ分ル河口ニ浮殿社

アリ

〔七〕以呂波川

河西部ニアリ

〔八〕瀑布

東西椎谷福貴野ノ三個アリ何レモ直下十余丈之ヲ宇佐郡ノ三瀑布ト云フ西椎谷ノ瀑最モ壯觀ナリ

〔九〕鷹巢

驛館川ノ河上鷹巢ハ岩ノ山突キ立テテ其ホヲ穴ニ觀音堂アリ
昔神武天皇四方ヲセイハツスル時土人菟狹津彦菟狹津媛天皇ヲムカヘテ足一ツアガリノ宮ヲ立テシハ此ノ近所ナリ

以呂波川

水利

西椎谷瀑……院内川

福貴野瀑……深見川

東椎谷瀑……津房川

佐田川

鷹巢

驛館川

周防灘

足一騰宮

寄藻川

向野川

月瀬川

浮殿

本郡ハ河水縦横ニ通スルヲ以テ大抵堰ヲツキ溝ヲホリテ田地ヲ養フ井手ノ主ナルモノハ川部井手上田井手平田井手廣瀬井手ナリ
河水ノ便ナキ所ハ池ヲ造リ水ヲタメテ灌溉ノ

〔一〕平田井手

用ニ供ス小倉池蛇堀池等ナリ
平田井手ハ今ヨリ六百余年
前數年打テツ、キテ
ナ養フ一六百五十余町實ニ
宇佐郡中最モ大ナル井手ナリ

此井手ハ今ヨリ六百余年
前數年打テツ、キテ
ヒヤケニ苦レミ人民ウエ死
ヌルモノ多カリシ故宇佐宿禰
公通大ニ之ヲウレヒ神領ニ
人夫ヲ出サレメテ造リシモノ
ナリ其後水時ノ規則ヲ立テ
益々便利トナレリ

〔二〕廣瀬井手

廣瀬井手ハ平田井手ニ次
キテ大ナルモノニシテ河東部
ノ水田ヲ灌漑スル一五百余
町兩川村廣瀬ニ始マリテ和尙
山ヲマハリ宇佐町ニ出ツ

〔三〕小倉池

其間山ヲホリヌキ谷ヲワタ
リ長サ五里許實ニムツカシ
キ仕事ナリシナリ百三十年
前宇佐神領役所初メテ此
仕事ニ取リカ、リシモデ
キズ其後領主代官等二度
マデ造リ上グントシタレド
モ遂ニナラズ明治ノ初ニ
至リ南一郎平氏大ニ其ナ
ラザリシヲ悲ミ遂ニ自ラ
金ヲ出シテ再ビ此仕事ヲ
始メヤウシテデキ上リタ
リ其功實ニ大ナリト云フ
ヘシ小倉池ハ横山村元重
ノ山間ニアリ郡内最モ大
ナルモノニシテアマアリ
殆ンド一里許ナリ
慶長十二年(今明治廿八年ヲ去ル)
(一二百八十九年前)宇佐郡
大ニヒデリシ人民ウヘル
モノ甚多カリキ時ノ領主
細川忠興之ヲ

海洋

アハレミ人夫ヲ出シ此池ヲ造ラシム其ヨリ元
重近ベン灌溉甚便利トナレリ

海濱

郡ノ北方スベテ之ヲ周防灘ト云フ海岸凡ソ三
里ニワタルモ大ムテ遠淺ニシテ泊舟ニ便ナラズ
海邊ニハ和間浦柳ヶ浦天津浦ノ名アリ此等ハ
月瀬驛館以呂波諸川ノ海ニ入ル所ニシテ毎年
土砂ヲアラヒ出スヲ多キト海潮ノ模様トニヨ
リテ海面次第ニ減少シテ陸地トナル

新田

鶴田岩保神子山郡中高砂順風乙女濱高家等ノ
諸新田ハ皆昔海ゾユナリシカ土砂之ヲウズメ
シニヨリ開キテ田地トナセシモノナリ

都邑

四日市

諸官署學校及東西別院等アリ頗ル繁盛ナリ

長洲

戸數千三百余ニ及ビ人口六千ニ近シ毎日漁船
ノ便アリテ商賣盛ニ行ハレ郡内第一ノ都邑ナリ

宇佐

宇佐八幡宮アリ今ハ到津氏其官司ナリ

官成到津二氏ハ共ニ神代ヨリノ各家ナリ祖先
宇佐津彦功ニヨリ宇佐ノ國造トナリ子孫宇佐
ヲ姓トス十七代池守ニ至リ初メテ宇佐八幡宮
ノ官司トナリ今尙其職ヲツゲリ

壽永年間平氏西下シテ宇佐ニ來ル豊後ノ豪族
緒方惟榮素ヨリ源氏ニ黨シ宇佐氏ノ平氏ヲ助
クルヲウタカヒ來リ攻ム宇佐宿禰公通之ヲ防
クヲ能ハズ惟榮遂ニ官殿ヲ燒キ居城ヲ毀テ歸ル

其後德治中公世ノ三子公連豊前到津ニアリ其近傍ヲ領ス是レ到津氏ノ祖ナリ永祿年間大友氏來リ攻メ兩家共ニ領地ヲ奪ハレ頗ル衰微ヲ極メタリ德川氏ノ世ニ及ビ漸ク領地ヲ得ルニ至レリ

時 枝

明治維新ノ際兩家共ニ華族ニ列シ男爵トナル善光寺アリモト小笠原氏ノ領地ナリキ小笠原氏ハ徳川ハク府ハタ本ノ士ニシテ此近ヘシ五千石ヲ領ス已レハ江戸ニアリ其ケヲイナ下シテ之ヲ治メシメタリ
其他中須賀下市佐田等ハ小市街ヲナス
宇佐八幡宮東西別院

社 寺

宇佐八幡宮

宇佐八幡宮ハ宇佐町ノ東南龜山ニアリ官幣大社ニシテ規模宏大樹木繁茂ケイ内頗ルオク深ク毎年三月十八日ハ其祭日ナリ此宮ハ應神天皇神功皇后比メ大神ノ三神ヲマツル所ニシテ本邦内名高キ神社ナリ
神功皇后ハ仲哀天皇ノ御キサキニシテ智勇男マサリノ皇后ナリキ此時熊襲ムホンレ天皇親ヲ征ハツセシモ賊ノ勢強クシテ討テ亡ボスヲ能ハズ天皇遂ニ崩レ給フ皇后其後ヲツギ天皇ノ崩セシ後親ヲ熊襲ヲ平ラゲ更ニ海ヲ渡リテ三韓ヲ征ハツシ我國ノ属國トナレ給ヘリ是レヨリ百數十年ノ間三韓ノミツギ物毎年タユル

コナカリキ

應神天皇ハ神功皇后ノ御子ナリ天皇ノ御代ニ
三韓ヨリアアヤ錦ノオリ手ヌヒ手及ヒ大工イ
物師等ヲ奉リテ吾ガ國人ヲ教ヘ又百濟ノ國ヨ
リ學者渡リキテ論語及千字文ヲツタフ是レ我
國漢字ノ始メニシテ此レヨリ學問ギ術大ニ開
ケタリ

カクモ徳高キ天皇ナリシカバ和銅年間今チ去ル千
百八十年前

此地ニ祭リテ八幡大神宮ト稱シ神功皇后比メ

大神ヲモ合セマツリタルナリ

此宮昔ヨリ神田封戸モ甚タ多カリシガ永録天

正ノ頃今ヨリ殆ソト
三百五十年前大友義鎮官殿ヲ燒キハラヒ豊臣

道路

秀吉神領ヲ取り上ゲタルヲ以テ甚オトロヘタ
リ其後黒田如水細川忠興等神地ヲキフシテ宮
殿ヲ立テ又徳川三代將軍家光新ニ千石ノ神領
ヲキフセシニヨリ再ヒ舊ノ通りニナルコトヲ得
タリ

社地ハ昔ヨリ今ノ龜山ニアラズシテ應居瀬社
小山田大尾山等ニアリシコトモアリキ

道路ノ主ナルモノ國道佐田道路濱道路玖珠道
路ノ四スデナリ

國道 中津 千源寺原 四日市

宇佐 立石 大分

佐田道路 西馬城 佐田 速見郡 大分

佐田道路國道共ニ大分ニ行ク道ニシテ佐田道路ハ國道ニ比スレハ稍近シト雖嶮惡ナリ其西側ニ貞女イナノ墓アリ

イナハ矢部村彌平ノ妻ナリ性温良ニシテ善ク夫ニ仕フ或歲夫及其弟ヲイ病ニカ、リ次テ母モ亦レクラトナリ家次第オトロヘ家トク皆ナ賣ツクセリ彌平イナノ苦ロウチアワレミ之ニ説キテ他ニヨメ入りセシムイナ從ハズ日夜三人ノ介抱ヲシナカラ自ラ田ヲ耕シ山ヲ伐リ以テ一家ヲ養ヘリ已ニシテ兄弟共ニ死ニケレハ親族勸メテ其家ヲ去ラシムイナ曰ク母アリ捨テ去ルニ忍ヒズトテ孝養終身怠ラザリキ藩主

之ヲ聞キ金及麥ヲ賜ヒテ之ヲ賞ス明和五年卒

ス 今明治廿八年ヲ去ル一七百二十八年前

濱道路 中 津 長 洲 高 田

玖珠道路 長 洲 三 又 院 内 谷 森

氣候

氣候一般ニ温和ニシテ夏ノ土ヨウ中ニテモ百度ニ上ルコトハ極メテ少シ但シ南部ニ至レハ頗ル寒シ

安心院谷ハ一年中朝霧甚深シ之ヲ安心院ノソコ霧ト云フ

生業

人民大抵農ヲ以テ主トナス近來桑田漸ク聞ケ農事ノヒマニハ養蠶製糸ヲナスモノ多シ

辛島祥平氏ハ辛島ノ人ナリ郡民ノ未ダ蠶事ヲ

知ラサルニアタリ早ク已ニ職工ヲヤトヒ近傍ノ子女ヲ集メ蠶ヲカヒ糸ヲヒキ又盛ニ織物ヲ始ム是ヨリ漸ク郡内ニヒロマリ遂ニ本郡ノ一大富源トナル氏其後籍ヲ大分ニウツシ今日マテ熱心ニ實業ヲツトメシカハ明治廿六年朝廷ヨリ綠綬章ヲ賜ヒテ之ヲ賞セリ

漁業ヲ業トスルモノハ長洲ニ最モ多ク春夏ノ頃ハ稍取ルレトモ冬ニナレハ却テ豊後地方ヨリ送り來リ唯秋ノ末ヨリ冬ニカケテアミノ獵甚盛ナリ

海濱ニハ鹽濱アリテ鹽ヲ製ス其中最多少ク産出スルハ水崎尾永井高家ナリ

物産

沿革

位置

物産ハ米ヲ第一トシ其他穀物生糸蠶ノ實生蠟鹽薪炭等ナリ

上古ハ菟狹ノ國トテ一個ノ國ナリシガ中古廢セラレテ郡トナリ豊前ニ属セリ其後種々ノウツリカハリアリテ徳川氏ニ至リ吾宇佐郡ハ中津領天領島原領時枝領等ニ分ル又宇佐町近傍ナドハ神領トテ昔ヨリ八幡宮ノ領分ナリキ

明治維新大名ノ政治クツレテ縣トナリタル時宇佐郡ハ小倉縣トナリシガ次イテ明治九年ヨリ今ノ如ク大分縣トナレリ

大分縣

九州ノ東北隅ニシテ西北ハ福岡縣前豊前筑後ニ

接レ東南ハ熊本肥後宮崎日向ノ二縣ニ界シ北ハ周防灘ヲヘダテ、山口縣周防ヲ望ミ東ハ速吸海峽ヲ以テ愛媛縣ト相對ス

東西二十八里南北二十七里ニシテ面積四百方里許ナリ

人口 戸數拾五萬三千余ニシテ人口七十八萬八千余人アリ

區劃 豊前二郡豊後全國ヨリナリ之ヲ十二郡ニ分ツ其内最大ナルハ大野郡ニシテ最小ナルハ西國東郡ナリ吾宇佐郡ハ大サ下ヨリ第四番ナリ

下毛郡 宇佐郡 西國東郡
東國東郡 速見郡 大分郡

山岳

北海部郡 南海部郡 大野郡
直入郡 玖珠郡 日田郡

到ル所多少山岳アラサルハナシ殊ニ大野直入玖珠ノ諸郡ハ山脈縱横シテ平地少ク山岳モ亦一般ニ高峻ナリ

英彦山 八面山下鹿嵐山 御許山宇佐應利山西國東雙兒山 文珠山東國由布嶽 鶴見山速高崎山大分傾山大野祖母山 久住山直湧蓋山 巖扇山玖珠觀現山 三國嶽日田等アリ

(一) 英彦山 豊前第一ノ高山ニシテ山頭三ニ分レ何レモ雲際ニ入り晴天ニアラサレハ之ヲ見ルヲ能ハズ

(二) 祖母山 豊後中ノ最高山ナリ

〔三〕高崎山

一名四極山ト云フ國主大友氏ノ據リテ威ナ九州ニフルヒシ所ナリ
 大友氏ノ先祖能直ハ源賴朝ノ子ニシテ豊後ノ守護トナリ初メテ此地ニ來ル後十八代ニシテ義鑑ニ至リ天下大ニ乱レ諸侯攻伐ヲ事トス大友氏先ツ近國ノ土豪ヲ征シ勢稍強大トナレリ此時九州ニハ南ニ島津氏北ニ龍造寺氏アリテ吾大友氏ト相ナラビテ九州ヲ三分セリ其子義鎮ニ至リ益國境ヲヒロメ遂ニ龍造寺氏ヲ肥前ニ亡シ島津氏ヲ大隅薩摩ノ片隅ニ押シツケ九州中七ヶ國ヲ領スルニ至レリ此時外國船ハ直ニ城下ニ出入シテ西洋トノ貿易盛ニ行ハレ實

山脈

〔一〕英彦山脈

ニ大友氏全盛ノ時ナリ
 義鎮髮ヲケヅリテ自ラ宗麟ト曰ヒ後遂ニ耶蘇教ニ入リテ政事ヲ勉メズ此間ニ島津氏ハ諸國ヲ攻メ取り勢漸ク盛ナリ宗麟ノ子義流立ツニ及ヒテ島津氏來リ攻メ國內ノ諸城大抵攻メ落サレ逃レテ宇佐郡龍王城ニ來リシガ豊臣秀吉ガ島津氏ヲ征伐セシニヨリ僅ニ豊後一國ヲ取カヘスヲ得タリ實ニ天正十五年明治廿八年ヲ去ル三百九年前ナリ

〔二〕久住山脈

英彦山脈ノヒテ下毛日田及宇佐玖珠ノ間ヲ走リテ立石雞戸諸山トナレリ
 久住山脈ハ肥後ノ阿蘇山ヨリ來リ大船黒岳諸

山トナリ速見郡ノ中央ヲ貫キ國東ニ入り文珠
雙子トナル

此山脈ハ所謂火山々脈ニシテ各山大抵今尙噴
火セリ故ニ縣内温泉ハ皆此近傍ニ進レリ

〔三〕祖母山脈

此山脈北ハ久住山脈ニ連リ東傾山ニ至リ尙進
ミテ一ハ南海部ヲ分テ一ハ日向ノ境ヲナス

縣内最高山大嶽ニ富ム山脈ニシテ支脈八方ニ
ヒロガリ其過クル所郡内所トシテ山岳ナラサ
ルハナシ殊ニ祖母傾ノ近傍最モ高峻ニシテ日
向高千穂ト相接レ所謂人跡未タ到ラサル地ナリ

三國岳

現權山

英彦山脈

英彦山
嚴扇山
人見山
立石山
雛戸山

八面山
鹿嵐山
御許山

久住山脈

文殊山
雙子山
鹿鳴山
鶴見山
由布山
黒カ岳
大船山

噴火山
噴火山
高崎山

久住山 噴火山
湧蓋山

祖母山脈
祖母山
傾山
高千穂

川流

大野川 三隈川 山國川 驛館川 大分川
八坂川 白杵川 番匠川 桂川 武藏川アリ

〔一〕大野川 縣内第一ノ大河ニシテ長二十里河船ノ上下スル
一十一里余ナリ
上流ニ相並ヒテ雌雄沈墮ノ瀑アリ直下十余丈

〔二〕山國川
低地

巾六十間水勢猛烈ニシテ頗ル奇觀ナリ
長十三里上流ニ耶馬溪アリ
海岸ハ一般ニ抵地ナリ

原野

〔一〕石垣原

五穀善クミノリ農産物ニ富ム一縣内第一ナリ
南海部ノ海岸ハ瘠土砂石ニシテ耕作ニ便ナラズ
石垣原 阿蘇野 野尾原 千町無田

鶴見山ノスソ野長クヒキテ海ニ達シ一ノ原野
チナス之ヲ石垣原ト云フ此地ハ曾テ大友黒田
二氏ノ血戦セシ所ナリ

朝鮮征伐ノ時義統小西行長ノ敗レタルヲ助ケ
ザリシトテ秀吉大ニ怒リテ其國ヲ取り上ゲ義

統ヲ安藝ニ押シコメタリキ慶長五年明治廿八年ヲ去ル
一二百九十六年前豊臣秀頼ノ諸將徳川家康ヲ亡サントシ義統ヲ
マキキテ豊後ヲ取リカヘサシム義統之ニ從フ
家老吉弘嘉兵衛統幸之ヲ聞キ其宜シカラサル
ヲイサシ家康ニツカシム義統キカス馳セカヘ
リテ兵ヲ上グ大友氏ノ舊臣諸國ニカクレタル
モノ來リ集リ忽チ數千人ヲ得タリ乃チ進ミテ
石垣原ニ陳ス中津ノ城主黒田孝高兵四千人ヲ
以テ來リ攻ム吾軍遂ニ敗レ吉弘以下悉ク戦死
セリ
山間ノ平野ニシテ土地肥ヘス、キカヤノ類茂
生セリ傳ヘ云フ田野長者ノ跡ナリト

〔二千町無田〕

温泉
冷泉
鑛山
島嶼
岬崎

縣内火山多キヲ以テ温泉ニ富ム、他縣ノ及ハ
サル所ナリ鶴見山ノ麓ニ別府濱脇觀海寺堀田
明礬鉄輪由布岳ノ麓ニ湯平塚原其他所々ニ數
多アリ何レモ善ク病氣ヲホス
田野及六ガ迫ニハ冷泉アリ
木浦尾平ノ兩鑛山アリ銅錫鉛及アンチモニ
産ス
姫島周回三里余
人口二千余人大入島周回五里余
人口三千余人共ニ漁業盛ナリ
此外高島無垢島津久見島保戸島大島等アリ
地藏崎ハ遠ク海中ニ突出シテ伊豫ノ佐田ノ岬
ト相對シテ内海ナイダク其間僅ニ六里速吸海
峽ト稱シ舟行甚危険ナリ

港

其他美濃崎楠屋崎蒲戸崎鶴望崎芹崎等ナリ
 佐賀關港ハ南北兩港共ニ遠ク陸地ニ入り灣内
 内水深ク實ニ天然ノ良港ナリ
 齒莖港別府港ニハ阜頭ヲツキテ泊舟ヲ便ナラ
 シム
 其他白杵 日出 竹田津 長洲 佐伯等亦舟
 ナ泊スヘシ
 周防灘 硫黃灘一名豊後灘 齒莖灣 日向灘
 日向灘ハ所謂外海ニシテ風波頗ル險惡ナレト
 モ其他ハ何レモ海上極メテ靜ナリ
 齒莖灣硫黃灘ハ火山ノ脈ニアタリ日向灘ハ琉
 球ヨリ來ル暖流ヲ受クルヲ以テ海水爲メニ温

海洋

海温

氣ヲ帶ビ魚ノ繁殖甚盛ナリ

豊前

下毛郡……………中津港
 宇佐郡……………長洲港

西國東郡

東國東郡
 竹田津港
 姫島

美濃崎

速見郡

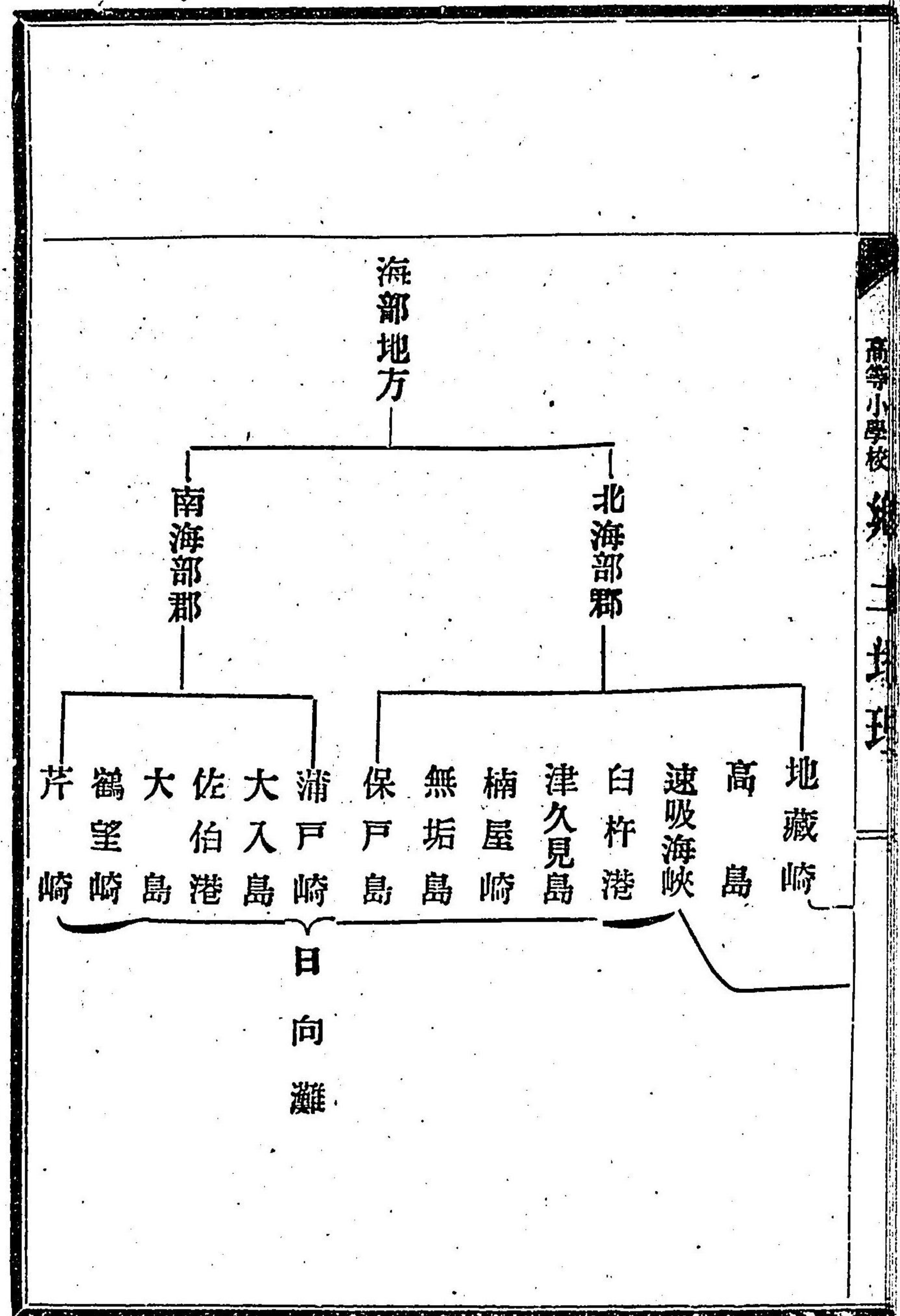
杵築港
 日出港
 別府港

大分郡

齒莖港

周防灘

硫黃灘



都 邑

〔一〕中 津

山國川ノ河口ニアリ人口一万二千余郡役所裁判所監獄署中學校等アリ

中津ハモト黒田氏ノ始メレ所ニシテ細川氏小

笠原氏其後ヲツギテ之ヲ修メ享保二年明治廿八年

七十七年前遂ニ奥平氏ノ居城トナレリ城趾ハ市街ノ

西ニアリ今公園地トナレル所是ナリ

〔二〕大 分

大分縣廳ノアル所ニシテ人口一万一千余裁判所監獄所師範學校中學校等アリテ日ニ盛大ニ

赴クノ姿アリ

大分ハモト府内ト稱シテ藩主大給氏ノ居城アリ

シガ今ハ用ヒテ縣廳トナセリ

〔三〕白杵

人口一万余市街頗盛ニレテ郡役所農學校等

〔四〕豆田

藩主稻葉氏ノ居城ハ今公園地トナレリ
維新前代官所ヲ此地ニ置ケリ

其他四日市高田玉津鶴川杵築日出佐伯

市場竹田森隈等アリ

諸藩

德川氏ノ世吾大分縣ニハ左ノ諸藩アリ

中津 普第 奥平氏 拾万石

杵築 普第 松平氏 三万二千石

日出 外様 木下氏 二万五千石

府内 普第 大給氏 二万三千石

白杵 普第 稻葉氏 五万六千石

佐伯 外様 毛利氏 二万石

岡竹^{今ノ}田 外様 中川氏 七万四千石

森 外様 久留島氏 一万二千五百石

立石 日出ノ分家 五千石

豊後ハモト七個ノ小藩ニ分レ且ツ肥後領島原

領天領等其間ニマサリテ各別々ニ政事ヲナセ

シガ明治五年廢藩置縣ノ時之チ一マトメトシ

テ大分縣ト云フ一政治ノ下ニ支配スルニ至レ

リ其際藩主ハ大抵之ヲ華族トナス明治九年豊

前ノ中宇佐下毛二郡ヲ加ヘ総ベテ十二郡トナリタリ

神社

宇佐神宮 彦山神社 寒多神社

以上二社共ニ國幣中社

宇佐神宮

宇佐神宮ハ宇佐ニアリ和氣清曆ノ故ヲ以テ其

名殊ニ高シ

清麿ハ眞ニ忠義ノ人ナリ昔稱徳天皇今明治廿八年ヲ去ル一千百三十年前

ノ時弓削道鏡ト云フ僧アリ天皇深ク之ヲ愛シ

高キ官位ニナシ給ヒシカハ威勢ナラフモノナ

カリキ其ヨリ道鏡次第ニ我マ、トナリ盛ニ無用

ノ工事ヲ始メ租税日ニ重ク天下皆ナ苦シミウ

ラミケレドモ之ヲ如何トモスルヲ能ハサリキ

時ニ太宰ノ主神中臣阿蘇麿道鏡ニヘツラヒ宇

佐八幡ノ神教トイツハリ奏シテ曰ク道鏡ヲシ

テ天位ニツカシメハ天下太平ナラント是ニ於

テ天皇清麿ヲ宇佐ニ下シ更ニ神教ヲ受ケシメ

給フ清麿出立ノ時道鏡劔ヲニギリ眼ヲイカラ

セ清麿ニ向ヒテ吾志ニ從ハ、高キ官ニナスベ

シ從ハズバ重ク罪セントナドシタリ

清麿宇佐此時八幡宮ハ今ノ大尾山ニアリシト云フヨリ歸リ神教ヲ奏シテ我

國ハ昔ヨリ君臣ノ分固ク定マレリ道鏡何者ナ

レバ敢テ天位ヲ望ムゾ大逆無道ノ人速ニ誅ス

ヘント憚ル所ナク述ヘタリ道鏡之ヲ聞キ大ニ

怒リ直ニ清麿ノ官位ヲウバヒテ大隅ニ流シタ

リカクテ次ノ天星光仁天皇ノ時ニ至リ道鏡ヲ

下野ニ流シ清麿ハ召シカヘサレテ其忠義ノ程

ヲ賞セワレキサレハ近世朝廷ヨリモ清麿ヲ神

ニマツリ護王明神ノ号ヲ賜ヘリ

各地方ヲ連ヌル道路ノ主ナルモノハ條アリ

道路

大分 高崎山腰 別府 濱脇
小倉道 豐岡 鹿鳴越 立石 宇佐

四日市 中津 小倉

鹿鳴越ハ上下殆ンド三里ノ險坂ニシテ行旅甚
之ニ苦シム近頃豐岡ヨリ日出赤松ヲマハリテ
立石ニ至ル平道ヲ開キテ此險ヲ免レシメタリ

別府 由布院 森 大太郎坂

福岡道 豆田……………筑前……………福岡

隈……………筑後

熊本道 大分 野津市 久住 熊本

宮崎道 大分 戸次 市場 重岡 宮崎縣

佐伯道 大分 鶴崎 市 白杵 佐伯

竹田道 白杵 野津市 市場 竹田 熊本

大分ヨリ熊本ニ至ルニ久住通り竹田通りノ二
アリ其内久住通りヲ近シトス

濱道路 中津 長洲 高田 竹田津 鶴川

杵築 日出 豐岡

山國道 中津 耶馬溪 石坂 豆田

氣候
一般ニ温暖ニシテ三十五度ヨリ九十五度ノ間
ニアリ然レドモ玖珠直入大野ノ山間ハ霜雪早
ク降リテ寒氣強シ

生業
地勢及地味ニヨリテ大ニ其業ヲ異ニスレドモ
一般ニ農ヲ以テ主トナシ傍漁業商業工業ヲ營ム
海部ノ海岸ハ漁業盛ニシテ收穫モ亦大ナリ

產物

米穀 材木 青蕈 生糸 茶種 煙草 櫛實
茶 紙 食鹽 硫黃 錫等ナリ

終

明治廿八年五月一日印刷
明治廿八年五月十五日發行

賣價 六錢

大分縣豐前國宇佐郡長洲町三百八十六番地
發行兼印刷者 阪本 棊次郎

大分縣豐前國宇佐郡
編輯 宇佐郡高等小學校

大分縣豐前國宇佐郡長洲町八百四十四番地
編者 入學已之助

